2021 年 KIC 第 2 号

BBP 新聞

今学期第 2 号の BBP 新聞では、前回に引き続きインタビューを行いました。そして今回は、衣笠 BBP プロジェクトチームの一員である、3 回生の知優さんと BBP プロジェクトチームの我々を支えてくださる衣笠国際教育センターの Hana さんにお話を伺いました！BBP に少しでも興味のある方は、是非インタビュー欄をご覧ください。ここでしか知られない、特別なことがわかっちゃうかも・・・？！

インタビュー

ひらま　ちひろ
平馬　知優

自己紹介

こんにちは！文学部国際コミュニケーション専攻 3 年の平馬知優です。読みにくい漢字ですが、これでひらまちひろと読みます。2 年生の春学期から BBP スタッフを始めました。

最大のインスピレーションは誰ですか？

難しいですね…常にいろんな人から刺激をもらって、自分も頑張ろうって思うタイプなので、「この人！」という特定の人は言えないですね。親や友達、先輩や後輩、先生方、みんな本当に尊敬できる人ばかりですし、みんながいるおかげで、「私もできる、やるぞ！」って日々なっています。本当にありがたいです。

BBP をやっていてよかったことは何ですか？

やっぱり多くの人と出会うことができるというのが 1 番やっていて良かったなと思います。出身地や学年、話す言葉や学部などを超えて本当にいろいろな人と関わることができるので、刺激をもらったり、新しい価値観を吸収できたり、学ぶことも多くあります。コロナ禍になって、人と関わる機会が失われつつあった中で、オンラインではあるものの多くの人と関わることでできているので、BBP をやっていて良かったと感じます。

鳥を飼っておられるようですが、ペットで鳥を選んだ理由は？

これは単純に好きだから。もちろん鳥も大好きなんですけど、私は小さい頃から動物というか生き物が好きで、鳥以外にも動物を飼っていて、今はカメも飼っています。あと、ウサギも本当につい最近まで飼っていたんですけど、11 年間の幸せをくれた後、月に帰りました…。
今までたくさんの生き物を育ててきたんですけど、家の関係で、犬猫が飼えないので、小動物を飼う機会が多く、それで、今たまたま飼っているのが鳥なんです。(笑) ヤドカリとか、カエルを飼っていたこともあります。ちなみに今飼っているインコちゃんは、もう私と人生を歩み出して 13 年目に突入しています。

PT(プロジェクトチーム)に入った理由は？

将来、国籍や老若男女関係なく、多くの人と関わりたいとずっと思っていて、その 1 歩になるかなと思ったのが 1 番の理由だったと思うんですけど…、正直、当時、なんでなろうと思ったのか、はっきり覚えていなくて…。募集要項を締め切り当日の 3 時間くらい前に見つけて、考えるより先に行動って感じで慌てて志望理由を書いたのだけ覚えています。何か新しいことをしたいと思ったときに、目にしたのが BBP の PT 募集だったというのも、単純ですが、1 つの理由になるかな (笑) 私は実は応募するまでほとんど BBP に行ったことがなくて、気になってはいたんですけど、ちょっと勇気がいるなあと当時思っていました。募集要項をみて、「もう今しかない、スタッフになって飛び込んでみるか！」って感じで入っていきました。

一成さん(プロジェクトチームメンバー)の第一印象と今の印象を教えてください。

一成さんって誰かわかりますか？BBP 新聞 1 号に載っていた人です！なんか凄い人って感じがしません？私の一成さんの第一印象は、シンプルに「わ、なんか、凄そうな人」だったと思います。なんでもテキパキこなすし、アイデアも経験も豊富だな〜って思っていました。はじめて同じチームになったときは、2 つ年上だと思っていました (笑)「なんか凄い先輩！」って感じで、恐れ多くてあまり話していなかったと思います。今は、もう何でも相談できる頼れる先輩です。
今でも、いろんな面で、すごくカリスマ性のある、できる人だなとは思いますし、本当に尊敬しています。フレンドリーで話しやすくて、面白い人ということにしときますね (笑)

あなたにとっての BBP とは何ですか？

「程度に関係なく、やりたい、やってみたいという思いを、叶えることができる場」だと思います。私たちスタッフも、いろんなイベント企画などで、思いを実現できることはもちろんですが、イベントに参加してくれる方、BBP を利用してくださる方に

とっても、そのような場だと思っています。「自信はないけど、英語を話してみたい」「人見知りだけど、輪を広げたい」「なんとなく、すごい人になりたい」どんな小さな「やってみたい」でも、規模の大きな「叶えたい」でも、時間はかかるかもしれませんが、それを否定せずに、一緒に考えてくれる人、取り組んでくれる人がたくさんいますし、利用してくださる方の思いを叶えるために私たちも活動しています。もしかしたら、まだ BBP は私が言ったような場ではないと感じる人もいるかも知れません。なので、これからも「やりたいを叶えられる、自分や誰かの秘めた境界線を越えることができる場」を作れるように活動していくので、一緒に目指してくれる人、大募集です！

衣笠国際教育センター　職員

Hana さん

BBP のプロジェクトチームなど BBP の活動において、プロジェクトチームのメンバーや先生は利用者の方々に比較的知られていると思います。しかし、先生や学生だけでなく職員さんにも協力していただいて BBP が成り立っているということを読者の方々に伝えたいという思いで、今回衣笠国際教育センターの Hana さんにインタビューをしました。

BBP のプロジェクトにおいてどのような形で携わっていますか？

BBP は、学生同士が交流するスペースではありますが、学生だけではなく先生も職員も共に協力して作りあげていく場です。学生の皆さんの企画に対して、先生は教育的な観点からみなさんの学びの部分を指導され、私は職員として、皆さんの企画や活動に関する様々なルール作りや注意事項など、事務的な立場からサポートしつつ、皆さんに楽しんで活動をしてもらえるような体制を作り上げています。

BBP とはどんな Border も越えていく、Border を無くす場だと思うんですね。私が BBP で一番大事にしていることは、先生であれ、職員であれ、学生であれ、立場関係なく何でも話せるような、楽しい場所にすることです。私は先生ではありませんが、みんなに楽しく活動してもらいたいし、学んでもらいたいという気持ちが強いので、人生の先輩としての立場からみんなに色々言ったりすることもあります。逆に学生でもないのに（BBP の企画に）写真を応募したりします。

BBP でする仕事の中で１番大変なことは何ですか？

BBP プロジェクトチームの皆さんに、私の伝えたいことをしっかり伝えて理解して学んでもらうことです。繰り返しますが、私は、先生も職員も学生も立場関係なく、みんなひとりの人間だと思っています。私も学生のみんなが今いる道を通ってきた経験があるので、自分が大学生だったらどう思うかなあと、常にみんなの気持ちになって考えようとしています。でも、私が大学生だったのは遙か昔だし、それから色々なことを経験しているので、みんなの気持ちをわからずに言葉を発してしまうこともあると思います。

もう一つは、「別に BBP は英語喋れなくても来れるんだよ！」、「誰でも来ていいんだよ」って言いたいけど、それを伝えるのが大変です。たぶんみんな（BBP プロジェクトチームメンバー）も一緒だよね。私も同じ気持ちを持っていて、BBP を知らないみんなにもどんどん BBP に来て楽しさを経験してほしいです。皆さんが一歩前へ踏み出してみた先に BBP があったなら、BBP はあなたの事をいつでも歓迎します。とこの場を借りて言いたいです！

なぜ Hana さんは、BBP に携わりたいと思ったのですか？

沢山あって難しいですね。BBP のスタッフが一生懸命試行錯誤してチーム一丸となって企画をするポジティブな雰囲気が好きだなと思っています。スタッフの雰囲気が良いからみんなに BBP スタッフになることを勧めてしまいます。この分け隔てのないポジティブな雰囲気にいたいなと思ったことが携わりたいと思った理由です。BBP が本当に好きなんだと思います。

大学に BBP の様な場所がある事についてどう思いますか？

とても良いことだと思います。私が大学生の頃は、ただの「スペース」しかなかったので、この BBP のような場所は学生にとって大切な場だと思っています。BBP のスタッフたちの凄いところは、この様な場に関わることを自分で選び、積極的に自ら企画するイベントを通じて他の学生にその機会を与えていることだと思います。みんなに BBP をもっと知ってもらいたいですし、この様な場所が苦手な学生にも来て貰いたいですね！こういう場に行ってたくさんの人に会い、自分の視野を広げることで何か素敵で楽しいことが待っていると私は思っています。また、自分の留学経験からも、留学生支援コーディネーターとしても、BBP で留学生のお手伝いをできたらいいなと思っています。

ふらっと BBP について教えてください。

ふらっと BBP はその名の通り、「ふらっと」BBP に来てくださいという気持ちと、学年や国籍関係なく話せるフラットな場所という意味が込められている交流会です。現在はオンラインで２週間に１回の頻度で実施しており、日本に来られない留学生にとっての情報交換の場であったり、国内の学生と友達になれたりできる場所になっています。

http://www.ritsumei.ac.jp/bbp/events/detail/?id=253

ふらっと BBP に参加している方々の雰囲気はどの様な感じでしょうか？

こぢんまりと、楽しくやっています。毎回アンケートを取っているのですが、楽しんで参加してくれているようです。2 回か 3 回のセッションの中で、テーマを決めてブレイクアウトルームで交流をするのですが、テーマは募集したり、私が決めたりしています。言語は日本語でも英語でも OK です。言語の上手下手関係なく、コミュニケーションをとろうとする気持ちを大切にしていますので、参加はどなたでも大歓迎です。英語や日本語を練習したい参加者が多い時は、ブレイクアウトルームごとに言語を決めていますので、たまに日本人同士で英語を喋っていることもあります。凄いですよね。

BBP 以外のことをお聞きしますが、Hana さんの趣味って何ですか？

私の趣味は山登りです。

子供のころから田舎の育ちで、山に囲まれて育ってきたっていうのもあるのかな。でも本格的に山登りを始めたのは大人になってからです。京都に来て、山なんか登らない生活をしていましたが、きっかけがあって山に登った時に、初めて「あぁこの感覚久しぶり」って感覚がありました。「あ、わたし、息ができている！」じゃないけど、そう思ってからハマるようになりました。今では重装備で 3,000m 級の山々を踏破するようになりました。

Hana さんは海外に行ったことはありますか？

ニュージーランドに 10 年住んでいました。振り返ってみれば、海外に行っていたという感覚よりは、私の 10 代 20 代の人生そのものがニュージーランドにある、という不思議な感覚があります。きっかけは高校 2 年生の時に交換留学で 1 年行かせてもらうことに決めたことでした。初めは「私、英語話したい！」っていう気持ちで行き、その後も引き続きニュージーランドで進学させてもらうことに決め、そのあとも現地の旅行会社などで働いていました。ニュージーランドでは、よく海に行っていました。海や山など自然が好きなんだなと改めて思います。

留学を考えている人に向けて一言お願いします

行ける環境であれば是非行ってもらいたいです。でも留学に行けなくても自分の力で視野を広げることは可能だと思います。今居る世界から少しでもいいから一歩ずつ踏み出して、チャレンジすることで、多くのことを学ぶことに繋がり、自分で豊かな人生を切り開いていけると思います。

【BBP イベント特集】
オンライン旅先探訪記 (BKC)

このイベントには衣笠 BBP プロジェクトチームの優都が参加者として参加し、BBP 新聞の記事にさせていただきました。

5 月 20 日（木）に Zoom 上で BKC-BBP の主催イベント「オンライン旅先探訪記」が開催されました。

イベントでは、パキスタン、ハンガリー、韓国の 3 か国のことについて、3 カ国それぞれの風景や名所、その土地ならではの食べ物の紹介など各国出身の留学生によるスピーチが行われました。また、スピーチの後に交流会として参加者と BBP スタッフ、スピーチを行った留学生で交流をする時間が設けられ、交流を深めることができました。

新型コロナウイルスの感染拡大により、旅行をすることが困難な状況にある中で、今まで知らなかった世界を知り、新たな交流を深めることができたとても楽しいイベントでした。

オンラインではなく、実際に旅に出ることができる日がまた来るのを願うばかりです。

BKC-BBP の皆さん、素敵なイベントをありがとうございました！

BBP メンバーのルナによる
ミステリークイズ！

こんにちは、みなさん！　国際関係学部 2 年生のルナです。私が楽しんでいることの 1 つは、本やビデオゲームでなぞなぞを解くことです。このコラムでは、私が最近見つけたミステリークイズのいくつかを皆さんに共有したいと思います。それでは、答えを当ててみてください。答えは最後に載っています！

1. 登校初日、2 階のトイレで女子生徒が殺害されているのが発見された。警察は 4 人の男性教師を疑い、1 人ずつ尋問した。「午前 8 時に何をしていましたか？」と警察が質問すると、男性教師はそれぞれ次のように答えた。

   アランさん　　：今朝は遅く起きたので駐車場に車を停めていた
   エリックさん　：職員室で試験の採点をしていた
   トムさん　　　：下痢だったので朝はずっとトイレにいた
   ジャクソンさん：2 階ベランダの植物に水やりをしていた

   そしてついに、警察は殺人犯を捕まえた。殺人者は誰でしょうか？

2. 4 人の親友は、定期的に一緒にサウナを訪れていた。彼らはいつも何かを一緒に持ってきていた。ミュージシャンのジェレミーは、音楽を聴くためにいつも iPod を持ち歩いている。銀行員のウィリアムは、いつもタンブラーを持ってくる。ディランとルーカスは、どちらも弁護士で、常に書類を持ってくる。ある日、ディランがサウナで死体として発見された。彼は鋭利な物体で殺されていた。警察はすぐに調査に来たが、

犯行現場では凶器は見つからなかった。

誰がディランを殺し、そして彼はどのように殺されたのでしょうか？

3. シンシアはホテルの部屋でぐっすり眠っていたが、ドアをノックされ、目が覚めた。彼女は毛布を下ろし、スリッパを履き、ドアに向かって歩いた。彼女がドアを開くと、見知らぬ男がおり、その見知らぬ男は「ああ、私の間違いだ。ここが自分の部屋かと思った、すみません！」と言って、彼は急いで廊下に飛び出し、階段を降りた。シンシアはドアを閉め、すぐに警備員を呼んだ。

シンシアはなぜ警備員を呼んだのですか？

4. アンジーとジュリアは姉妹で、前日に母親が元父親に殺されて悲しんでいた。葬儀で、アンジーとジュリアは、家族の悲しみを慰めてくれる、とても魅力的な男性に出会った。残念ながら、葬儀中は忙しく、彼と連絡先を交換する機会はなかった。翌日、アンジーは死体で発見された。

アンジーを殺したのは誰で、その理由は何でしょうか？

ここからは答えが載っています。
正しく理解できましたか？

1. 殺人者はエリックさん
彼が女子生徒を殺したのは、学校の初日ということで、生徒たちはまだ試験を受けていないから。

2. ディランを殺したのはウィリアム。
彼はタンブラーに入っていた鋭い氷のかたまりを使ってディランを殺した。氷が溶けたため、警察は犯行現場で凶器を発見しなかった。

3. そのホテルの部屋が、見知らぬ男の本当の部屋だったらそもそもノックをしなかっただろうから。

4. アンジーを殺したのはジュリア。
彼女がアンジーを殺したのは、その魅力的な男にもう一度会いたかったから。（お葬式があれば会えるから）
（出典先 https://youtu.be/xSAyYFXQdJg ）

2021年 KIC 第2号

BBP新聞

鉄道紀行

文学部地域研究学域2回生の優都です。鉄道ファンの私が、コラム「鉄道紀行」で奥深い鉄道の世界をご紹介します。今回紹介するのは「珍しいシーン」です。

この写真は、とある日に東海道線の京都駅の東側、鴨川を渡る部分で撮影したものです。新快速や特急などが行き交う中で突如現れたこの車両は、東京メトロ副都心線の新型車両(17000系)です。

ではなぜ東京の電車が京都にいるのでしょうか？

実はこれ、鉄道車両を製造する工場から、鉄道会社の車両基地まで線路を使って運び入れている最中なのです。

鉄道車両を輸送する手段として、トレーラーを使って道路で運ぶ方法、船を使って海上輸送する方法、鉄道路線を使って運ぶ方法などがあり、これらのうちのいずれかの方法または複数の方法を組み合わせて輸送されます。写真のように鉄道路線を使って輸送するときは、貨物列車の機関車に引っ張られる形で輸送されていきます。

新型車両が機関車に連結されて、普段は現れるはずがない路線を通っていく「最初で最後の機会」であるため、鉄道ファンの人気の的となっています。東海道本線や山陽本線などではたまにこのような列車が走ります。

みたことのない車両が機関車に牽かれているのをみることができたらとてもラッキーです。もしかしたらその日はなにかいいことがあるかも。

編集後記
秋学期ですね！
８月前半はオリンピック三昧でした。無観客だったので家が会場に変わっていました（笑）男子バレーが予選突破したことはこの夏の１つの思い出です☺
秋学期も健康第一に楽しみましょう！(夏)